

【令和7年度】 医師の負担の軽減に資する医師と関係職種との役割分担について

1. 計画の目的

当院に勤務する医師について、多職種との役割分担及び勤務環境の改善事項を明らかにしながら、医師の負担軽減に資する計画を策定しようとするものである。

このことにより、医師、看護師等の医療関係職の各職種が専門性を必要とする業務に専念できるとともに、当院における効率的な業務運営を図りながら、良質な医療サービスを継続的に提供しようとするものである。

1. 計画の目的

内 容	分 担 内 容
医療クラークの増員	<ul style="list-style-type: none"> ・医療クラークを増員し全診療科に配置 ・ローテーション確立に伴う、効率的な応援体制の確保 ※診療科毎の業務量調査
多職種への業務移管	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の事業運営方針に基づき、多職種への業務移管を推進する。 なお、具体的な業務移管の内容については、別表において定める。 ・施設基準に定める病棟勤務週20時間の確保 ・病棟内での薬品に係る情報提供と医師及びコメディカル間との連携強化（情報共有） ・胎児エコーの実施件数増 ・他診療科エコー実施の拡大
女性医師の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間勤務制度を活用し、女性医師に対する支援を行う ・育児支援のため病院における24時間保育と夜間一時保育施設の整備
医師と関係職種との役割分担の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の負担軽減に資するため、医師と関係職種との役割分担について、「医師及び医療関係職種と事務職員等との間での役割分担の推進について」（医政発第1228001号）に基づくほか、当院の事情を勘案して【別表】のとおり定める。
入退院支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援看護師の配置により、地域の医療機関等への円滑な患者紹介を行うとともに、医師及び病棟看護師等の負担軽減を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ① 28年度～退院支援看護師4名配置 ② 30年度～入院時支援加算算定のため、専従看護師1名を増員 ・地域包括ケア病棟導入（H29.11～算定開始）により、60日間長期で入院可能となったため、退院調整に専念可能。当該病棟の有効活用と直接入院の検討を行う。
地域医療福祉連携室の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の2項目を円滑に進めるため、地域医療福祉連携室を活用する。 ・四半期毎に病院広報「北リアスの風」を発刊し、開業医等への周知を実施する ・北三陸ネット（地域の医療・介護・福祉の情報ネットワーク）を活用・拡大させ、情報共有を行う
助産師外来等の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県産婦人科医会が実施する「お産ネットワーク」への参加による地域医療機関等との役割分担の推進。